

# 備後教区報

E-MAIL: paper@bingo.gr.jp

## 発行所

〒720-0052

福山市東町2-4-5

本願寺備後会館内

教区報編集委員会

TEL (084) 924-5759

FAX (084) 931-9323

## 発行人

教務所長 佐々木孝昭

## 今年から『伝道』をテーマに



教学伝道センター研究員 藤丸智雄師

# 僧侶研修会

教務所初! ?  
パソコンを取り入れての研修会



三次組専正寺 深水顕真師

2004  
2/23

祖の伝道に学んでいかなければならないと同時に多方面に目を向けていくことの大切さを学ばせて頂きました。

二月二十三日(月)、僧侶研修会が二人のご講師をお迎えし、「伝道」をテーマに本願寺備後会館において開催されました。

午前は三次組専正寺 副住職 深水顕真先生に『現代宗教の動向』〜新宗教からニューエイジまで〜と題して、新宗教の現状、インターネットによる団体と信者とのつながりや浄土真宗におけるインターネット利用調査等お話をいただきました。

午後は教学伝道センター研究員の藤丸智雄先生に『仏伝から見るお釈迦さんの伝道の姿』と題して、

お釈迦様が悩み悲しんでいる人にどのような言葉をかけていかれたか等、お話をいただきました。

ともすれば、新宗教に入信された人々たちを「迷った人」、悩みの相談を「浄土真宗ではそんなことは言わない」と切り捨ててしまっているのではないかと、他の宗教団体の指導者は浄土真宗のことをよく勉強し研究もされている。

しかし私自身は他の宗教団体のことを知らずにはいませんでした。

浄土真宗の教えを伝えていくためには、お釈迦様や宗

## ご挨拶



備後教区教務所長  
佐々木孝昭

皆様におかれましては、日頃より教団また教区の諸活動にご尽力賜っておりますこと深甚の謝意を申し上げます。

新年度を迎えるにあたり、先の定期教区会においてご採択いただきました平成十六(二〇〇四)年度予算書を送付させていただきます。ご報告また概略のご説明を申し上げます。

ご承知のように当教区選出宗会議員不二川公勝師が総長にご就任され、拓く伝道、お念仏の和を拡げるとのスローガンのもと大遠征に向け新機軸を種々打ち出されていることであります。特に仏教壮年会や少年連盟をはじめ各教化団体の強化拡充は、重要な施策として教区としても強力に推進いたしたく存じます。

さて、教区一般会計予算に

おきましては、宗派交付金において、この度より教務所長賞与引当金が交付されることとなりました。本件につきましては西本法照教区会前議長をはじめ関係の方々のご尽力により実現されたことであり、教区としては教化推進への大きな余力となるものであります。これを受け、前年度まで予算困窮のため特に削減いたしておりました各種経費の中より、一部を復活また増額配分させていただきました。まず、各組における諸活動の推進充実を図っていただくため、奨励費を還付率十％に復活いたしました。次に回金におきまして、会館維持積立金への回金を復活いたしました。ご承知の通り旧館の老朽化、また、狭隘な駐車場でご迷惑をおかけしている現状等を考慮し、それらに対応できる資金作りをとの思いからであります。また各教化資金におきましては、種々増額配分をいたしましたことでもあります。

予算執行にあたっては節減に努め宗務を進めてまいりる所存でありますので、何卒宜しくご理解ご協賛のほどお願い申し上げます。

また、今年度は第五十回中

四国地区仏教婦人会大会が備後教区の引き受けにより開催されます。皆様のご協力無しには大会の円成はかなわないことでもあります。何卒ご協力の程重ねてお願い申し上げます。ご報告ご挨拶とさせていただきます。

## 「備後教区基幹運動計画書」

発行について

このたび、教区会のご採択をいただき、「備後教区基幹運動計画書」を製本発行し、全寺院並びに教化団体等関係役職者及び門徒推進員の方々に配布することに致しました。

私たちの教団では「念仏の声を世界に子や孫に」というスローガンや「御同朋の社会をめざして」という目標を掲げて「基幹運動」と名づけ、総代会・仏教婦人会・仏教壮年会などの教化団体活動をはじめ、布教・お勤め・学習・親睦などすべての諸活動が行われています。そのため教団もまた備後教区も、毎年『基幹運動計画書』を作成し、それに基づき取り組みを進めてまいりました。

しかし、備後教区では昨年度、主として経費節減のため計画書を教区基幹運動推進委員や各組組長など限られた役職者にのみ配布し、また必要最小限の記載に止まっております。

近年、より充実した運動を推進していくためには計画の周知が必要ではないかとの声が高まり、そのことが様々な現場で痛感されてきました。

また、計画書により、計画が明瞭に周知されることがあつてこそ、寺院活動に資することとなる各教化団体の連携・拡充や組織強化も具現化ができるのではと存じます。

現在、私たちの教団の基幹運動計画では、「門信徒と僧侶が共に歩む」ことが目指されております。このような時期、私たち備後教区も少しでもその実現に寄与できればと存じます。

以上のような思いから、本年度より「基幹運動計画書」を発行・配布致したく存じます。皆様にはご協賛いただき、ご利用下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

合掌



備中里組・浄心寺坊守  
津田 治子さん  
(紹介・深津組・光行寺坊守  
荏屋 光子さん)



「浄心寺・仏教婦人会」は現在会員一七五名ほどおられ、去年は、結成十周年記念式典が行われたそうです。

午前の部は、「女性コーラス同好会」の発表と、藤井文子先生の歌を聞き、午後の部は、中村久子さんの次女「中村富子さん」をお招きして講演会が行われました。今回の坊守探訪は、仏婦のことを中心にお話を伺いました。



坊…これは、御止忌報願講にお参りしたときの子川柳です。川柳は奇数月に「かめの子川柳同好会」というのを自坊でしてゐます。住職はよく先生にほめられるんですけね。(ほっほっほ)

この時、結界のところに座ってたんですけど、ふっと後ろを振り返ったら、それはもう、ほんとに満堂で、自然にみなさんお念仏がでるんですね。仏婦のかたも喜んでおられました。うちの本堂では味わえない感動でしたね。  
Q…研修旅行も行かれるんですか？  
坊…年一回は行きますよ。大型バス一台で日帰りで行きます。毎年一ヶ

所は真宗の関係のお寺へ行かせてもらってます。

前は松江のお寺へ行行って歓談してもらったんですけど、次の年に、今度は松江のお寺の仏婦の人達がうちへ来てくださったんですよ。その時うちの会員さん達で「かき踊り」を披露したりして。そのおかげで仏婦どうしの交流ができましたね。

住…仏婦交流ってのはいいですね。坊…そうそう。やっぱりお互い通じるものがあるんでしょうね。

Q…坊守さんは、仏婦を結成され、そして長年活動が続けてこられたわけですが、ここまでやってこられた秘訣って何ですか？  
坊…うーん。何でしょうか…。

住…ええ？まあ、坊守の一番の長所は明るい点ですね。これがみなさんに親しまれている、ということでしょうか。それから住職は、あまりものを言いませんが坊守は、よしやべります。(坊…笑)  
坊守さんらしくない坊守さん、いわゆる庶民的なところがいいんでしょうね。

坊…仏婦を結成してから特に思うんですけど、声を掛けたら来てくださるんですよ。こちらが待つてたらそれまでだなあと思います。何事も呼びかけが大事です。本堂に。役員の方に声をかけたらすぐ来てくださるんですよ。ありがたいです。みなさんに支えられているんですよ。だからもっと早く結成すればよかったなあと思います。



Q…最後に、これからの抱負をお願いします。  
坊…はい。みなさんに支えられて浄心寺を護り、運営していただいております。このまま、何でもそうですが、細くても長く継承していきたいです。

ありがとうございます。とっても仲のよいお二人でしたが、最後までツーショット写真は撮らせていただけませんでした。残念。この次はぜひ一緒に！  
(聞き手 中組 香積寺 福島雅子)

## 会館内部



あまりの天気のよさに、寝ていたカメも日向ぼっこ

次回もお楽しみに！



## 教区会議長報告



寺行 光徳  
組 専 井 藤  
深津

百花繚乱の春を迎え、教区の皆様方にはますますご法耕に余念なくお励みのことと存じ敬意を表します。

議長就任後一年を経ました。教区内の諸取り組みについて、様々な点で進展を見ているところであります。

今後も、ご努力下さる諸先輩をはじめ、若手僧侶による独自の教化活動に支援を惜しまないものであります。

武野前総局提唱の「拓く伝道」を継承発展させ、不二川新総長は「お念仏の和を拡げる」ことを宗務運営の基本方針とされました。

まず己が信を抱くことが大事でしょう。しかし不断にとどまる事なき他者への働きかけを

「自行化他」の教え通り、再生産しうる形で進めていきたいものです。

さる三月二十九日定期教区会が開かれ、平成十六年度予算案他について熱心に審議がなされました。

この予算は教化活動を最重点においたものとなっており、視聴覚伝道に、また門信徒教化に手厚く対応いたしております。

今後インターネットなどの電子媒体の利用を促進させ、「拓く」、「拡げる」の観点から、「世界に子や孫に」向けての伝道を、冷静でしかも爆発的に進めていきたいものであります。

最後に、備後教区は本山の指令に先立ち、「賦課基準調整委員会」を設置いたしておりますが、このたび、指令通り「備後教区維持口数調整委員会設置規則」の区令を可決いたしました。

いずれも、公正、公平、平等に宗務を背負い、ともに宗祖の教えを弘めてゆきましよう、の意図であります。ご協力お願いします。

## 基幹運動研修会・組相談員研修会 教区推進委員会・第二回定期総会

三月四日(水)、午前十時半より、「宗門の基幹運動の現状と課題」というテーマで、毛利寿恵子第四連区担当中央相談員を講師とし、基幹運動研修会・組相談員研修会(併催)が開催され、宗門の基幹運動計画書の詳細な説明と、運動全般にわたる現状と課題についての報告が行われました。報告の主要点は、職制変更や宗門の基幹運動計画書作成について、「『全員聞法・全員伝道の徹底』をはかると共に、『み教えに基づく取り組みであることの明確化』を心がけて行われたものであり、その中心が基幹運動計画書であること。その計画書は、特に取り組みの中で『僧侶・門信徒や男女の共同参画』、『課題の共有』が推進されていくように願って作成されたものである。」という内容でした。

報告後、法名の本来化へ向けた宗門の取り組み状況をはじめ、各種課題の取り組み状況について質問があり、次年度には各教区推進委員会の意見を求めることや、宗門の取り組み状況を報告できる段階に来ているとの応答がありました。

同日午後一時からは、教区推進委員会第二回定期総会が開催されました。総会では前年度の事業報告及び新年度の事業計画について、真摯な審議が行われ、審議結果を常任委員会できりまとめ次年度運動計画書に記載していくことになりました。

また、特に次年度計画書からは、教区推進委員会運動計画書の製本並びに配布先の拡大(旧来は複写版で推進委員と組長のみ配布)を実現すべく、教区会へ要望することが決議されました。



毛利寿恵子 中央相談員

備後教区教務所長 佐々木孝昭

# 区令 「備後教区護持口数調整委員会設置規則」 発布について

皆様におかれましては、ご法義ご相続のこととお慶び申し上げますとともに、教区運営に種々ご協力を賜り、まことにありがたく深甚の謝意を申し上げます。

この度、平成十五年度備後教区定期教区会において下記区令をご採択戴きましたのでご報告申し上げます。

本件につきましては、平成十二年宗達第八号並びに平成十五年宗達第三十号により宗派に設置された「中央護持口数調整委員会」の規程に基づき、各教区に対し「教区護持口数調整委員会」の設置が要請されたため区令を発布し委員会を設置するものであります。

本委員会は「宗派より提示された教区目標護持口数(宗派護持口数)」の改定を諮ることが主な所掌事項であります。

現宗派護持口数は施行され既に三十年余りが経過し、社会情勢の変化に伴う経済基盤の大幅な変動に伴う改定が宗門の大きな課題となっていたものであります。皆様のご協力を賜りたく宜しくお願い申し上げます。

なお本件は、教区内の賦課制度を検討するために先に設置いたしました「教区賦課制度等調整委員会」とは性格及び目的を異としておりますので、併せてご了解を賜りたく存じます。

今後とも、拓く伝道、み教えを広げるため微力を尽くす所存でありますので教区運営にご協賛のほど何卒宜しくお願い申し上げます。

## 区令 備後教区護持口数調整委員会設置規則

### (設置)

**第1条** 護持口数改定にかかる体制整備に関する条例(平成15年宗達第30号)第3章の規定に基づき、備後教区護持口数調整委員会(以下「教区調整委員会」という。)を設置する。

### (教区調整委員会の所掌)

**第2条** 前条の規定による教区調整委員会は、総局が提示した教区目標護持口数について、組および寺院間の調整を行うものとする。

### (組織)

**第3条** 教区調整委員会は、委員若干人で組織する。

2 委員は、教区会議員、組長および学識経験者など教区関係者のうちから、教務所長の進達によって、総局長が委嘱する。

3 委員の任期は、2会計年度とし、再任をさまたげない。

### (委員長および副委員長)

**第4条** 教区調整委員会に、委員長および副委員長各1人を置く。

2 委員長は、教務所長をもってあて、教区調整委員会を代表し、会務を統理する。

3 副委員長は、委員のうちから教務所長が指名し、委員長を助け、委員長に事故があるときは、その職務を代行する。

### (招集)

**第5条** 教区調整委員会は、教務所長が招集する。

### (意見の聴取)

**第6条** 教区調整委員会は、必要に応じて、学識経験者その他関係者を招致し

て、その意見を聴取することができる。

### (教区会の承認)

**第7条** 教区調整委員会で調整し、最終決定された目標護持口数は、教区会の承認を経て、中央護持口数調整委員会に報告するものとする。

### (経費)

**第8条** 教区調整委員会の運営経費は、教区会計をもってあてる。

### (運営)

**第9条** 教区調整委員会の運営について必要な事項は、委員長が教区調整委員会に諮って決めるものとする。

### 附 則

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

## 全国講社中四国ブロック講員研修会



藤田徹文先生

去る一月二十八・二十九日の二日間にわたり、全国講社連絡会主催による中四国ブロック講員研修会が備後教区引き受けにて尾道千光寺山荘を会場に開催されました。中四国各地より、このたび五十七名もの例年を上回るご参加を頂きました。かねてより講社活動の低迷が

みられる昨今において、今年度から新たに活性化のきっかけとして、講社の原点を振り返っていたため、一日目は「御消息披露」を体した法話、二日目は御文章「毎月兩度の章」を中心に、このたびは御調西組光徳寺住職 藤田徹文先生にご法話を頂きました。参加者の皆さんはいずれも聴間に集中しており、聞法に対する真剣なお姿を見て、さすが歴史ある講社の方々と感服させられました。

また、今年度はすばらしいことに新らしく備後に開心社念仏講が設立されました。これを機縁に低迷が続いている備後教区講社の活性化につながればと思います。

開心社念仏講につきましては改めてご紹介いたします。

## 責任役員・門徒総代会報告

三月五日(金)本願寺備後会館にて会館の責任役員・門徒総代会を開催し、平成十六年度本願寺備後会館各種会計予算を審議し承認されました。(平成十六年度予算別紙掲載)二〇〇四(平成十六)年度本願寺備後会館では、毎月十一日の常例法座、十一月三十日(火)の報恩講法座をはじめ参加者の聞法会を開催する事、また、会館では勝如上人(前門様)の御影をお迎えいたしましたので、三回忌法要と併せて御影のお迎え法要を七月二日(金)午後二時より厳修することにしたしております。後日ご案内いたしますので、多数ご参拝下さいますようお願い申し上げます。

営繕におきましては、会館全館の蛍光灯の交換及び旧館役宅の台所の老朽化に伴い現在改修を余儀なくされておる状態でありますので、本年度営繕の予算を計上いたしました。

また参与に関しましては、引き続き各ご寺院の皆様方より一人でも多くご推薦をいただければ幸甚と存じます。

現在参与会は全員男性であります。女性参与の推薦もお願いしたいことであります。

何とぞ、会館の維持運営にご協力を賜りますよう、ご住職をはじめ門信徒の皆様方にはよろしくお願い申し上げます。

一月二十九日(木)に本願寺備後会館において、第三回同朋講座が開催されました。

過去二年に引き続き、本願寺同和教育振興会研究部会部長で兵庫教区超念寺住職の西脇修先生を講師にお招きし、「意識的序列構造を考えるその3」―本願寺教団の本末制度(特に穢寺制度)など―のテーマのもと、講義をいただきました。



同朋講座 西脇 修先生

また西脇先生の講義に先立ち坂原英見備後教区相談員より「御同朋のねがい―同朋講座への道程―」と題して講義がありました。

今回より教区内の僧侶のみならず門徒推進員をはじめ広くご案内をしたところ、門信徒の参加もあり、ともに研鑽を深めた講座になりました。

西脇先生から講座の中で「差別的構造があるから差別をするのではありません。私の差別意識が構造を利用するのです。一番大切なのは私が差別をするかどうかです」とのお話があり、差別は決して他人事ではなく自らの問題として取り組むべきことであることを、改めて学ばせていただきました。

## 第三回 同朋講座開催

## 教区仏壮連盟総会・研修会報告

三月七日(日)本願寺備後会館にて教区仏教壮年会連盟総会・研修会が開催され四十八名の会員が参加されました。

午前中研修会、午後総会の日程で、テーマは「私は仏壮?」と題し、講師は仏婦総連盟講師並びに仏壮活動活性化に関する専門委員である大分教区の藤井邦麿先生をお迎えし、「仏教とは」「壮年とは」ということで、仏壮誕生から現状までの講義をいただきました。

特に仏壮会員の固定化、高齢化、それに伴う会員の減少といった現状を踏まえ、今年度より「仏壮活性化元年」ということで、今一度、住職と互いに協力を深め、仏壮活動を推進し、さらには仏壮が基幹運動推進の



大分教区 藤井邦麿先生

核となって活動していただくように取り組んでいく必要があるという内容でまとめられた。

また、午後より総会が開催され、二〇〇三(平成十五)年度の活動並びに決算報告が承認され、引き続き二〇〇四(平成十六)年度の活動計画並びに予算が決議され、特に二〇〇四(平成十六)年度の行事において、八月二十九日(日)御調西組光徳寺での夏期研修会、十月三十日(土)三十一日(日)に本願寺山口別院で開催される、中四国仏壮会員研修会への参加奨励を申し合わせ一日の日程を終了しました。

なお、四月一日より全国仏教壮年会議慶弔規程が改正され、仏婦と同様に、仏壮会員(退会者を含む)の死亡について、弔慰状が交付されるようになり、教務所に備え付けられることとなり、併せて、仏壮の活性化に資する『壮年教化のてびき』が本年より刊行され、親鸞聖人七百五十回大遠忌法要並びに全国仏壮の連盟化に向けて、壮年教化の重要性が図られることとなりました。

## 布教団部門別・基幹運動研修会ならびに臨時総会

二月二十七日(金)に本願寺会館を会場にして、布教団の部門別・基幹運動研修会並びに総会が二十五名参加のもと開催されました。

開会式に引き続いて、部門別発表会では比婆組妙延寺の尾野義宗先生より『歎異抄』の新視点と題して発表がありました。午後から二時間にわたって基幹運動研修会が開催されました。講師は安芸教区元相談員で沼田組教雲寺住職の藤井聡之先生で、「生き方宣言・・・私たちが現在(いま)社会(ひと)とびと

ら問われていること」と題して講義をいただきました。引き続き臨時総会が開催され、翌年度の事業計画、予算、規約改正等について審議されました。

## 参与会総会・聞法会



大阪教区 豊島学由先生

三月九日(火)本願寺備後会館において、二十七名の会館参与の皆様にお集まり頂き、午前中に参与会の幹事会、午後から総会・聞法会が開催されました。

ご講師は大分教区 豊島学由先生をお迎えし、『人間の願い 如来の願い』という講題でご法話を頂きました。

幹事会・総会では会館の会計報告、参与の増員について協議がありました。

## 安芸教区 藤井聡之先生



比婆組妙延寺 尾野義宗先生



# 十数回もの会合を重ね、 大会に向け準備進む

## 第五十回中四国地区仏教婦人会大会開催迫る!!

日程

二〇〇四年 六月三〇日(水)

八時三〇分 開 場

九時四五分 開会式(重誓偈作法)

十一時 記念講演(清岡隆文先生)

十二時 昼 食

十三時 音楽と映像で振り返る

十三時四〇分 仏婦大会五十年の歴史

十四時一〇分 基調講演(清水恵美子先生)

座談会

座談会終了

会場

コンベックス岡山

岡山県都窪郡早島町矢尾七七七

テーマ

「聞」いのちみつめて

とともに生きよう

講師

清岡 隆文先生(仏教婦人会総連盟講師)

清水恵美子先生(本願寺派布教使)

『いのちの教育』の著者

教区内の皆様へ「ご報告並びにお願い」

第五十回の中四国地区仏教婦人会大会引受けにあたり、去る十月二十七日に第一回大会実行委員会が教務所にて開催されて以来今まで、一月二十二・二十三日には中四国各教区の委員長・担当者をお招きし会場の下見、大会開催に係る内容の検討の会議があり、各部門会議並びに部門連絡会等々十数回の会合がもたれました。

開会式は「重誓偈作法」女性僧侶による音楽法要を厳修する予定です。伝供の音楽、音楽法要の重誓偈は教区内の女性コーラス約二五〇名のご出演をいただいて荘厳の中にも迫力ある開会式を計画いたしております。

午後の企画と致しまして、五十回記念大会ということもあり、映像と音楽で仏婦大会五十年の歴史を参加者全員で振り返る、会場正面の四〇〇インチのスクリーンに今までの貴重で懐かしい映像を映し出し、その当時の音楽を参加者全員で歌いながらこの五十年を振り返るとともに、わたし達の今の課題、今後の方向性を共有し考えていきたいと考えております。その後、その内容を座談会という形で深めていく予定です。

なお、大会の準備については前日、当日とも仏婦会員はもろんのご協力をお願いいたします。

また、ご住職様はじめ、各寺院の皆様には、本大会の円成に向けご要望やご指導をいただきたく、重ねて宜しくお願い申し上げます。





## 本願寺備後会館常例法座

二〇〇四(平成十六)年度

どうぞ皆様お誘い合せの上、

ご参拝下さい。



### 上半期

●四月十一日(日)

「照らされて生きる」 三次市 源光寺 福岡 玄猷 師

●五月十一日(火)

「浄土真宗とは」 御調町 福成寺 平山 静暁 師

●六月十一日(金)

「いのち願われて」 福山市 光明寺 吉岡 隆義 師

●七月十一日(日)

「他力のおすくい」 沼隈町 西光寺 箱田 義信 師

●八月十一日(水)

「浄土真宗のみ教え」 備後会館主管 佐々木孝昭 師

●九月十一日(土)

「真宗の救い」 福山市 光栄寺 平山 義文 師

### 下半期

●十月十一日(月)

芳井町 光栄寺 佐藤 知水 師

●十一月十一日(木)

福山市 光明寺 千葉 隆誓 師

●十二月十一日(土)

甲山町 善行寺 真澄 慎一 師

二〇〇五(平成十七)年

●一月十一日(火)

世羅町 円超寺 法正 良映 師

●二月十一日(金)

三次市 専正寺 深水 顕真 師

●三月十一日(金)

福山市 善行寺 山本 耕嗣 師

## 婦・若人研修のついで

日時

二〇〇四年(平成十六)年  
四月二十六日(月) 十時

会場

深津組 光善寺 本堂  
(福山市東町二一四十二)

講師

1. 午前の部

寺院の教化活動について、普段あまり縁のない地域において活発な活動をされている方から学びをとの思いから、新潟教区三条組 長念寺 山之内浩乗先生からお話を頂きます

2. 午後の部

仏教讃歌を深津組 専光寺坊主 藤井文子先生よりご指導を頂きます。

リニューアルオープン

## 仏事雑記帳

永代経について



本山では故人の命日ごとに毎日勤められ、一般寺院においてはおよそ春秋二期、または年に一度、永代経法要が勤められます。

行われていた祠堂経(しどうきょう)の風習にあり、仏教とともに日本に伝来し、諸宗派で盛んに行われてきました。

浄土真宗では十四代寂如上人の頃から永代経と称して勤められる様になりましたが、その意義は他宗で言う永代経、祠堂経とは異なります。

『中村仏教語大辞典』に永代経は「主として真宗で用いられる語で、他の宗派では祠堂経とよぶことが多い」とあります。

また『真俗仏事編』に「儒家に鬼神を祠(まつ)る所を祠堂と名づく。吾俗是に倣いて父母亡霊の為に寺に納むる財なれば祠堂銀(しどうぎん)と云う。」とありますように、祠堂経は死者の追善供養のための読経を意味します。

浄土真宗における永代経は追善供養のためではなく、阿弥陀様のご本願の説かれた經典と聞法の道場としてのお寺が、子や孫へといつまでも受け継がれますように、とのご懇念からなる法要であり、懇志なのです。

先人の歩みを訪ね、今私がお念仏のみ教えに遇わせて頂いていることを慶び、その慶びを同朋と共に永く子や孫へと伝え弘めていきたいものです。

## 不二川総長就任記念祝賀会開催さる



平成十五年十二月二十五日、福山ニューキャッスルホテルにて不二川公勝総長の就任記念祝賀会が二百人もの参加者の中、盛大に開催されました。

当日は、豊原大成元総長、石上議長をはじめ、各地より宗会議員十三名の参集があり、不二川総長への期待の高さを知ることができました。

総長は挨拶の中、前総局の掲げた「拓く伝道」の継承、また直面する諸問題への取り組みを今後オープンにしていく事を表明されました。

ボーモリーズ  
病院訪問

十一月十八日、福山市三吉町三愛病院にて、寺族婦人女性合唱団ボーモリーズのコンサートが開かれました。

二十八名の参加者は、美しい二部合唱を披露し、最後は患者の皆さんと一緒に「どんぐりころころ」を歌って、なごやかなひとときを過ごしました。

ボーモリーズへの参加希望・および活動依頼は、深津組光行寺坊守までお寄せください。



三愛病院で歌うボーモリーズ

## 備龍会 仏教教養講座

二月二十日、本願寺備後会館において、「いのちをみつめて」とともに生きよう（いのちの教育）は（心の教育）」と題し、元福岡県立久留米築水高校教諭 高尾忠男氏に講演いただきました。

高尾先生は、命の教育として、農業実践の授業の中で、生徒に一人一匹のニワトリの孵化、飼育、と殺、解体、調理、食事までを体験させる授業を実践された方です。生徒からの猛反発を説得、あえて実行した授業。その中で、かわいがった鶏の命を泣きながら断ち、それを口にした生徒たちは皆、鶏のいのち、自分のいのちへの感謝を身をもって味わった。食べた鶏の「切ない味」を忘れず持ち続けるまでの生徒の姿を、高尾先生は記録ビデオも使いながら、熱っぽく話してくださいました。

また、実際にこの解体授業を体験した生徒、堺 浩一さんもこの講演に参加し、授業の感想を話してくださいました。  
「私は一人で生きているのではない・・・いのちをいただいて生きているんです・・・」

## 平成16年度教区勤式練習会練習日一覧

- ・ 4月8日(木)
  - ・ 5月6日(木)
  - ・ 6月4日(金)
  - ・ 7月9日(金)
  - ・ 9月10日(金)
  - ・ 10月8日(金)
  - ・ 11月16日(火)
  - ・ 2月10日(木)
  - ・ 3月10日(木)
  - ※ 8月・12月・1月はお休み
- 時 間：午後3時から  
場 所：本願寺備後会館

備後教区教務所では、左記の日程で勤式の練習会を行なっております。皆様の参加をお待ちしております

## 車上荒らしにご注意!!

三月三十一日未明、会館駐車場にて車上荒らしが発生いたしました。皆様くれぐれもご注意下さい。

「愛が生まれるとき、憂い嘆き悲しみが生まれる」

「愛生経」より

思いは形にしなければ伝わらない

「ありがとう」・・・ 一言でいいんだよ

皆さんの心に響いた言葉を教務所までお寄せください



## 教区月報

### 1 月

- 8 日 宗務開始
- 10 日 仏婦常任委員会
- 11 日 会館常例法座
- 19 日 布教団役員会
- 22 日 ブロック仏婦連絡協議会
- 23 日 ピハーク協議会
- 24 日 仏壮役員会
- 26 日 ブロック仏婦大会行事部門会議(法泉寺)
- 28 日 ブロック講員研修会(尾道・29 日まで)
- 29 日 同朋講座
- 30 日 同朋三者懇話会(尾道)

### 2 月

- 2 日 会館休館日(3 日まで)
- 4 日 ブロック仏婦大会物品部門会議  
寺族女性勉強会
- 5 日 基推第 4 部会  
ブロック仏婦大会印刷・記録部門会議
- 9 日 基推常任委員会
- 11 日 会館常例法座
- 12 日 仏婦役員研修会(13 日まで)
- 13 日 基推第 1 部会
- 16 日 教区勤式練習会
- 23 日 僧侶研修会  
僧侶常備会
- 24 日 ブロック仏婦大会印刷・記録部門会議
- 25 日 少年連盟役員会  
ブロック仏婦大会部門別連絡会
- 27 日 布教団部門別・基幹運動研修会・臨時総会

### 3 月

- 1 日 岡山黎明高等学校卒業式
- 2 日 連区教化連絡協議会(四州)
- 4 日 基推総会・研修会  
ブロック仏婦大会会場部門会議
- 5 日 会館責役・総代会
- 7 日 仏壮総会・研修会
- 8 日 ブロック仏婦大会会場部門会議
- 9 日 参与会幹事会・聞法会
- 11 日 会館常例法座  
常備会
- 12 日 ブロック仏婦大会部門別連絡会
- 15 日 教区勤式練習会
- 18 日 教化連絡協議会
- 24 日 基推常任委員会
- 25 日 仏婦常任委員会
- 29 日 教区会  
仏婦大会映像部門会議
- 30 日 教区報専門委員会
- 31 日 組長会

### 4 月

- 5 日 基推第 4 部会合同会議  
基推第 4 部会
- 8 日 教区勤式練習会
- 9 日 岡山黎明高等学校入学式
- 13 日 仏婦総会・研修会
- 11 日 会館常例法座(福間玄猷師)
- 13 日 仏婦総会・研修会
- 19 日 少年連盟総会
- 19 日 賦課基準等調整小委員会
- 20 日 基推常任委員会
- 24 日 若婦専門委員会
- 26 日 寺婦・若婦人会研修会

### 5 月

- 11 日 会館常例法座(平山静暁師)
- 13 日 基推総会・研修会
- 14 日 布教団役員会
- 29 日 連区仏壮連絡協議会

### 6 月

- 11 日 会館常例法座(吉岡隆義師)
- 21 日 布教団総会・研修会
- 22 日 夏期布教大会
- 27 日 特別布教大会(三次組源光寺)
- 30 日 第 50 回中四国ブロック仏婦大会

今後の予定

## 敬 弔

お悔やみ申  
し上げます

(敬称略)

|                                        |                                          |                                         |                                        |                                        |                                        |                                        |                                      |                                        |
|----------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------|
| 世羅組<br>衆徒<br>照光寺<br>山田 英文<br>(十二月十八日寂) | 鴨川組<br>前住職<br>金蔵坊<br>岡田 英範<br>(十二月二十五日寂) | 沼隈西組<br>前住職<br>最明坊<br>日根 タツエ<br>(二月九日寂) | 鴨川組<br>前住職<br>勝願寺<br>足利 亮平<br>(二月二十日寂) | 世羅組<br>衆徒<br>照明寺<br>石川 長三<br>(二月二十二日寂) | 奥組<br>前住職<br>大宝寺<br>真淵 教輔<br>(二月二十五日寂) | 御調東組<br>前坊守<br>尊光寺<br>武田 敬子<br>(三月二日寂) | 御調東組<br>前坊守<br>正典坊<br>淳子<br>(三月十六日寂) | 御調西組<br>衆徒<br>正明寺<br>森田 芳順<br>(三月十九日寂) |
|----------------------------------------|------------------------------------------|-----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|----------------------------------------|--------------------------------------|----------------------------------------|

## 香典返礼

ありがとうございます  
ございます

沼隈西組 最明坊様  
深津組 専光寺様  
御調東組 法光寺様  
鴨川組 勝願寺様  
以上の方々より香典返礼を  
頂きました。

## お 礼

ありがとうございます  
ございます

このたび、備後教区常備会々員  
(二〇〇四年三月二十八日現在)様  
より備後教区教務所へノートパソ  
コンを寄贈下さいました。  
有難く利用させて頂きます。

常備会々員一同 (敬称略)  
藤井徳行・実相寛信・山名浩明  
西本法照・常光和信  
妹尾 隆・小林幸司・三谷清隆  
豊田淳祥

## 教師授与

おめでとうございます  
ございます!!

(敬称略)

## 得度許可

おめでとうございます  
ございます!!

(敬称略)

|                  |                 |                  |                 |                  |                      |                 |                 |                  |                  |                 |                  |                  |
|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|----------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|
| 奥組<br>高下 伸晃 (伸晃) | 世羅組<br>善正寺 (見雄) | 御調東組<br>光林寺 (清志) | 世羅組<br>善正寺 (利秀) | 奥組<br>金藤 恵幸 (勝傳) | 沼隈西組<br>大東坊 ルミ子 (環美) | 三谿組<br>専光寺 (智光) | 世羅組<br>専光寺 (是秀) | 備中里組<br>正専寺 (公善) | 沼隈南組<br>光源寺 (雅亮) | 比婆組<br>西明寺 (初美) | 御調東組<br>照源寺 (貴山) | 御調東組<br>最円寺 (寛恵) |
|------------------|-----------------|------------------|-----------------|------------------|----------------------|-----------------|-----------------|------------------|------------------|-----------------|------------------|------------------|

(平成十五年十一月十五日付)

(平成十五年十一月十二日付)

## 編集後記

場所は雪深き北国のある  
ターミナル駅。私は電車待ちの  
間、大勢が行き交う付随した商  
店街で時間をつぶしている。と  
「おかあちゃん」と大声で何  
度も何度も叫ぶ幼な子の声が聞  
こえてきました。私を含め路行  
く人々は間違いなく、親とはぐ  
れた迷子ちゃんである事に気づ  
いています。しかし夕方時間の  
帯でもあり、見てみぬふりして  
その子に声掛けることもなく通  
り過ぎて行きます。

私はもうそろそろ親が見つ  
け、駆け寄り、抱き上げる光景  
を期待しながら気に掛けている  
と、近寄っていったのは三人の  
小学生低学年女の子でした。  
「おまわりさん行こう」と何度  
も声掛けながらあやしていま  
す。

そこへようやく親御さん登  
場。「勝手によそへ行ってはダ  
メでしょう」といきなりの叱責  
です。礼も云わず立ち去った  
後、その三人の子供達に「あん  
なに怒らなくてもいいのに  
ネ」と云われる親も親。一部  
始終見ていただけの私は何?

(T・K)